

カルクウォール・スイスカラー



カルクウォール



スイスカラー

施工前にご準備いただくもの

- ・カルクウォール ・スイスカラー ・ミネラル下地材
- ・ベドフィラーパテ ・ジョイントテープ
- ・マゼラー ・コテ ・ローラー ・マスキングテープ
- ・カルクウォール・スイスカラー調色用缶

①施工準備

カルクウォールは、スイス地方で産出する天然の石灰を主成分に、古来より住宅に使われる高品質な鉱石などで表情を立体的にした、内装用塗材です。カルクウォールは数十年にわたり徐々に硬化し、強固な壁となりますが、下地が動けばクラック発生のトラブルにつながります。主な原因として石膏ボード取付不備、急激な仕上げ材の乾燥があり、これらを守るためにも、施工要領書に従い、施工を行うことを推奨いたします。基本的に、下地の不具合は仕上げ材でカバーできませんのでご注意ください。

■壁紙が貼ってある部位への施工はP25の施工注意事項を参照のこと

②下地作り パテ処理



ジョイント石膏ボード(ジョイント部テーパ形状)を10-15cm間隔でビス止めし、ジョイント部に隙間やズレが生じないようにしっかり固定してください。ベドフィラーパテで石膏ボードジョイント部とビス頭をパテ処理しフラットにしておいてください。直ちにジョイントテープを貼り、上からヘラで圧力をかけてしごき、テープとパテを十分に密着させ、余分なパテは取り除いてください。

Point

ファイバーメッシュテープよりジョイントテープの方がクラックが発生しにくい。

③パテ中塗り処理・出隅・入り隅処理



②の下地作業の後に、ベドフィラーパテを使用し、ジョイントテープの上からヘラで25cm幅にパテを平滑に塗り、フラットに仕上げてください。ビス頭も、もう一度パテ処理してフラットにしておいてください。

出隅・入隅は、パテでジョイントを埋め、上から半分の巾に折ったジョイントテープを貼り付ける。すぐに、ヘラでパテをテープの上から押さえてしごき、空気を抜いて密着させる。または吉野ジョイントコーナーを同じく貼り付け、上から押さえる。

パテ乾燥後、パテの表面が荒れているようであれば、軽く研磨して平滑にしておいてください。

Point

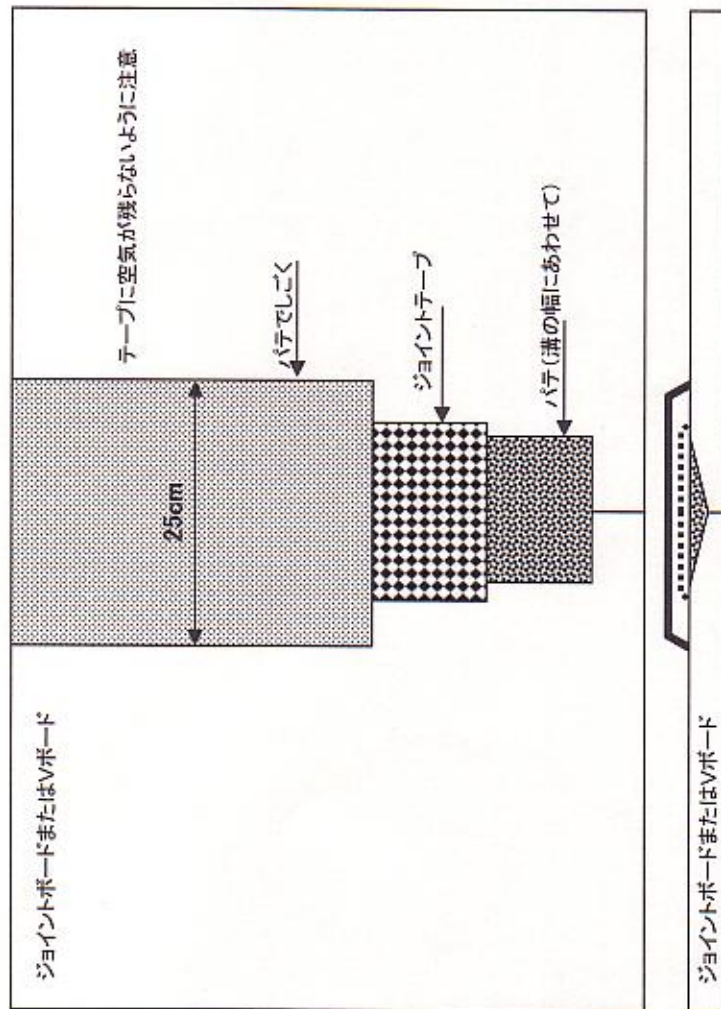
ベドフィラー以外のパテを使用する場合、ボード面とパテ面が吸水率が変わり、仕上げ材の表面につやムラが出る可能性があります。パテは天然100%のものを推奨します。

☆ 注意 ☆

カルクウォールは強アルカリ性の塗り壁です。木材と触れ合うと、木が黒ずみますので、事前に木には十分な養生を行なってください。また、作業には手袋、ゴーグルなどで保護してください。



石膏ボード用下地処理方法



⑤ミネラル下地材下塗り

下地が平滑であり、十分乾燥していることを確認してから、出来あがった下地の上に、ミネラル下地材を攪拌機で良く攪拌し、攪拌しながらローラーで均一に塗り広げてください。その後は24時間乾燥させてください。

Point

着色する場合は、カルクウォールにスイスカラーを1-10%程度混入し、着色してください。例えば、カルクウォール25kg+スイスウォール0.4kgを混ぜ合わせると、約1%調色になります。

⑥カルクウォール下塗り



カルクウォールをマゼラーで5分間攪拌します。コテ、又はローラーでカルクウォールを均一に薄く、しごきながら塗り広げてください。

⑦カルクウォール上塗り



コテの場合：1-2mm厚に意匠をつけながら仕上げてください。

ローラの場合：ローラーで1-2mm厚に塗り広げ、仕上げてください。またはその上からヘッドカットローラーで押さえて、仕上げてください。約24時間で指触乾燥できます。

Point

1度に2mm以上の厚塗りには割れの原因となりますので、厚塗りする場合は2度に分けて重ね塗りし、厚塗りしてください。



メンテナンス

カルクウォールの表面が汚れてきた場合、軽い汚れなら消しゴムで落としてください。ひどい汚れなら、上からデュブロン#400をカルクウォールの色に合わせ、10%の水で希釈したものを、ローラー又は刷毛で極薄く塗ってください。

警告

施工は室内温度15度以上の条件が適しています。気温5度以下の場合は施工を中止してください。